

## 県高体連テニス部 県大会などドロー作成のルール（平成29年度版）

公開ルール		内 規
序文	以下の原則に従い、顧問代表者会議（またはそれに代わる会議）においてドローを作成する。なお、特殊な事情については、顧問代表者会議で検討する。	ルールは経験に基づいて作られたもので、万全ではない。想定外の事態（特殊な事情）については公開ルールや内規に縛られることなく、顧問代表者会議で対処方法を検討する。
1	<b>IH県予選団体戦（20ドロー）</b>	
①	前年度県新人大会の優勝校を第1シード、準優勝校を第2シードとし、地区予選を免除する。 前年度県新人大会3・4位の学校の属する地区の基本数をそれぞれ1増やす。	
②	地区予選勝ち上がり校のうち、以下の条件を満たす学校から県大会第3・4シードを選ぶ。 ・団体登録選手にシングルスポイントを持つ選手が多い学校 ・団体登録選手のシングルスポイントの総計が大きい学校	・次の順に優先的にシードする。 (1) 4以上のSポイントを有する団体登録選手が複数いる学校 (2) 2以上のSポイントを有する団体登録選手が複数いる学校 (3) Sポイントを有する団体登録選手が複数いる学校、または、2以上のSポイントを有する団体登録選手がいる学校
③	残りの学校はフリー抽選でドロー位置を決めるが、原則として初回戦は同地区同士の対戦にしない。	・前年度県新人大会3・4位校が抽選に回った場合、順位順に5・6シードの位置に配置する。 ・シード校と2Rで対戦する位置に入る学校と、そうでない位置に入る学校を、各地区とも半々にする。 シード校以外の学校数が奇数の地区は、抽選でどちらの位置を1つ多くするかを決める。 ・出場数が4以下の地区は、1/4のブロックに1校ずつ配置する。ただし、同じ1/4のブロックにシードが2校入る地区は、他の学校を別の1/4のブロックに1校ずつ配置する。 ・出場数が5以上の地区は、1/4のブロックに1～2校ずつ配置する。
2	<b>県新人大会団体戦（16ドロー）</b>	
①	地区予選を勝ち上がった学校を県大会出場校とする。（地区予選免除の学校を設定しない） IH県予選優勝校・準優勝校が属する地区の基本数をそれぞれ1増やす。	
②	県大会出場校のうち、以下の条件を満たす学校から県大会第1～4シードを選ぶ。 ・団体登録選手にシングルスポイントを持つ選手が多い学校 ・団体登録選手のシングルスポイントの総計が大きい学校	・次の順に優先的にシードする。 (1) 4以上のSポイントを有する団体登録選手が複数いる学校 (2) 2以上のSポイントを有する団体登録選手が複数いる学校 (3) Sポイントを有する団体登録選手が複数いる学校、または、2以上のSポイントを有する団体登録選手がいる学校
③	残りの学校はフリー抽選でドロー位置を決めるが、原則として初回戦は同地区同士の対戦にしない。	・シード校が全て同地区になった場合、シード校との1Rで同地区対戦を1つまで入れてよい。 ・シード校と1Rで対戦する学校数は、地区ごとにシード校以外の学校数の1/2までにする。 ・出場数が4以下の地区は、1/4のブロックに1校ずつ配置する。 ・出場数が5以上の地区は、1/4のブロックに1～2校ずつ配置する。
3	<b>IH県予選および県新人大会S（32ドロー）</b>	
①	エントリーのあった選手のうち、高体連シングルスポイントランキング上位8名を地区予選免除とし、ポイントランキング順にシードする。	・8位が同ポイントで並んだ場合、全員を地区予選に回し、地区予選に回る選手が属する地区から抽選で基本数を増やす地区を決める。（ただし、同校の場合は校内順位上位選手を予選免除とする） ・予選免除が8名を下回った場合、予選勝ち上がり選手のうち、ポイント上位（同ポイントの場合は抽選、同校の場合は校内順位上位）から順に残りのシードを配置する。
②	地区予選勝ち上がり選手のうち、ポイントランキング上位4人を第9～12シードに配置する。	・12位が同ポイントで並んだ場合は抽選（同校の場合は校内順位）で12位を決める。 ・シード位置は抽選で決める。ただし③のルールに抵触する場合は、可能な限り③のルールを満たすように配置する。
③	残りの選手はフリー抽選でドロー位置を決めるが、原則として地区予選勝ち上がり選手同士の1回戦は同地区同士の対戦にしない。また、地区予選免除選手との1回戦は同校同士の対戦にしない。	・予選免除選手と1Rで対戦する選手数は、地区ごとに抽選に回る選手数の1/2以下とする。 ・出場数が4以下の学校は、1/4のブロックに1名ずつ配置する。ただし、同じ1/4のブロックにシードが2名入る学校は、他の選手を別の1/4のブロックに1名ずつ配置する。 ・出場数が5～8の学校は、1/4のブロックに1～2名ずつ配置する。 ・出場数が9以上の学校は、1/4のブロックに2～3名ずつ配置する。

## 県高体連テニス部 県大会などドロー作成のルール（平成29年度版）

公開ルール		内 規
<b>4</b>	<b>I H県予選および県新人大会D（24ドロー）</b>	
①	エントリーのあった組のうち、高体連ダブルスポイントランキング上位4組を地区予選免除とし、ポイントランキング順にシードする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4位が同ポイントで並んだ場合、全員を地区予選に回し、地区予選に回る選手が属する地区から抽選で基本数を増やす地区を決める。（ただし、同校の場合は校内順位上位選手を予選免除とする）</li> <li>・予選免除が4組を下回った場合、予選勝ち上がり選手のうち、ポイント上位（同ポイントの場合は抽選、同校の場合は校内順位上位）から順に残りのシードを配置する。</li> </ul>
②	地区予選勝ち上がり組のうち、ポイントランキング上位4組を第5～8シードに配置する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8位が同ポイントで並んだ場合は抽選（同校の場合は校内順位）で8位を決める。</li> <li>・ポイント順に5・6シードと7・8シードに分けて、それぞれ抽選でシード位置を決める。ただし、③のルールに抵触する場合は、可能な場合は③のルールを満たすように配置する。</li> </ul>
③	残りの組はフリー抽選でドロー位置を決めるが、1回戦は同地区同士の対戦にしない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出場数が4以下の学校は、1/4のブロックに1組ずつ配置する。ただし、同じ1/4のブロックにシードが2組入る学校は、他の選手を別の1/4のブロックに1組ずつ配置する。</li> <li>・出場数が5～8の学校は、1/4のブロックに1～2組ずつ配置する。</li> <li>・出場数が9以上の学校は、1/4のブロックに2～3組ずつ配置する。</li> </ul>
<b>5</b>	<b>強化合同練習会S・D予選</b>	
①	予選ドロー会議前日に公式HP上に掲載されている該当種目ポイントランキングにおける上位4（組）を予選免除とする。なお、ポイントランキングは行われる当該種目のものを参照する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な事情のある選手（組）を予選免除にし、予選ブロック数を減らすことがある。特別な事情とは、全国大会（インターハイ・全日本ジュニア等）またはそれに準ずる大会と合同練習会予選が重なること、など。（顧問代表者会議で判断する）</li> <li>・最下位が同ポイントで並んだ場合、いずれも予選免除とし、予選ブロック数を減らす。</li> </ul>
②	上記①以外のポイント保持者（組）を、保持ポイント順にブロックシードに配置する。 上記①以外のポイント保持者（組）がブロック数を下回る場合、残りのブロックシードは顧問代表者会議で決める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同ポイントの場合は、抽選（同校の場合は校内順位）で順位を決める。</li> <li>・ポイント保持者（組）が不足する場合は、次の順でブロックシードにする。 (1)720以上のGOPジュニアポイントを有する選手（組）をGOPジュニアポイント順に (2)県総体地区予選・地区総体・新人大会地区予選の戦績等から、各地区が推薦する選手（組）</li> </ul>
③	上記①②以外のポイント保持者（組）を、保持ポイント順にブロック裏シードに配置する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一番下のブロックから順に配置する。</li> <li>・ブロックのシードと裏シードが同校選手にならないように配置する。同ポイントの中で裏シードまたはシードを入れ替えることで、両シードが同校選手になることを回避できない場合は、裏シードをポイントが低い選手（組）と入れ替える。</li> </ul>
④	残りの選手（組）はドロー抽選ソフトによる自動抽選でドロー位置を決める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トーナメントマネージャー（和田システム）を用いる。</li> </ul>
<b>6</b>	<b>強化合同練習会S本戦（32ドロー）</b>	
①	予選免除の4人をポイントランキング順にシードする。	
②	予選勝ち上がり選手のうちポイントランキング上位4人を第5～8シードに配置する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予選免除が4人を超えた場合、超えた分だけここで配置するシードを減らす。</li> <li>・8位が同ポイントで並んだ場合は抽選（同校の場合は校内順位）で8位を決める。</li> <li>・ポイント順に5・6シードと7・8シードに分けて、それぞれ抽選でシード位置を決める。</li> </ul>
③	残りの選手はフリー抽選でドロー位置を決めるが、1回戦は同校同士の対戦にしない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2Rから同校対戦あり。学校の偏りは考慮しない。</li> </ul>
<b>6</b>	<b>強化合同練習会D本戦 （男子32ドロー・女子24ドロー）</b>	
①	予選免除の4組をポイントランキング順にシードする。	
②	予選勝ち上がり選手のうちポイントランキング上位4組を第5～8シードに配置する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予選免除が4組を超えた場合、超えた分だけここで配置するシードを減らす。</li> <li>・8位が同ポイントで並んだ場合は抽選（同校の場合は校内順位）で8位を決める。</li> <li>・ポイント順に5・6シードと7・8シードに分けて、それぞれ抽選でシード位置を決める。</li> </ul>
③	残りの組はフリー抽選でドロー位置を決めるが、1回戦は同校同士の対戦にしない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2Rから同校対戦あり。学校の偏りは考慮しない。</li> </ul>